

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	福祉科教育法 (Teaching Methodology in Welfare)		
ナンバリングコード	K20601	大分類 / 難易度 科目分野	教職科目 / 標準レベル
単位数	4	配当学年 / 開講期	3年 / 通年
必修・選択区分	教職関係科目(必修): 高等学校教諭一種免許状(福祉)		
授業コード	K006201	クラス名	-
担当教員名	河村 裕次		
履修上の注意、履修条件	教職を志望しており、通常のコミュニケーションが可能なこと。教職に期待される役割を習得する意欲を持つこと。 講義の中で教師に必要なミニマム(最低ライン)を求め、これに誠実に応え、自ら教職力を習得している実感を体感してください。		
教科書	学習指導要領、高等学校における福祉に関する各教科書		
参考文献及び指定図書	講義中に提示します。		
関連科目	免許取得に必要な全科目		

○授業の目的・概要等	
授業の目的	科目は高等学校の教科「福祉」の教員の免許状取得に必要な科目です。 高等学校生徒の福祉観を育み、自らの生活向上やすべての国民の権利擁護を思考できるよき市民育成を目的とした教育が、学校教育の場で展開できるよう具体的な教育方法について学び、教員として創意・工夫に富んだ教育課程を編成し、実践できる基礎能力を身につけることが目標となります。講義の内容としては、2018年改定高等学校学習指導要領をもとに、1. 福祉科教育の意義、2. 福祉科の学習指導、3. 福祉科の教育課程、4. 福祉科の教材研究と評価、5. 福祉科授業の方法と社会福祉の理解、6. 福祉科教育法の実践、7. 福祉科教諭の資質について扱います。
授業の概要	講義の前半では、教科としての福祉科を10歳代後半の高校生に指導する意味・意義などについて、その教育目標、育成を目指す資質・能力を理解するとともに、2018年改定高等学校学習指導要領に示される学習内容についてその背景となる社会福祉の概念や内容及び方法から検討していきます。また授業の後半では、前半の授業内容を受け、2018年改定高等学校学習指導要領が示す基準に即して、各科目の取り扱う内容及び指導方法について、様々な学習理論とともに学び、具体的な授業場面を想定した授業設計を行う方法について講義していきます。さらに実際に教壇に立つ場合を想定し、様々な学習指導理論について学び、学習指導案の作成、模擬授業の実施など多様な活動を組み合わせて実施します。
授業の運営方法	(1) 授業の形式 「講義形式」 (2) 複数担当の場合の方式 「共同担当方式」 (3) アクティブ・ラーニング 双方向授業 他
地域志向科目	該当しない
実務経験のある教員による授業科目	該当しない

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	受講生が、ノートを取りながら聴講する活動、演習に参加する態度、調査課題について諸資料を検索する活動、記述など文章化する活動、報告、模擬授業などを通して、それぞれの能力を受講前と比べて向上したと実感できること。	20点	5点	10点
【知識・理解】	知識や理解について毎時簡単な質問をする際に答えられるよう復習すること。	15点		5点
【技能・表現・コミュニケーション】	発問への応答、感想記録などにきちんと対応すること。		10点	10点
【思考・判断・創造】	聴く、記す、読む、書く、指導案に即して授業を想定するなどの全活動に良習慣を習得するよう努力すること。	20点	5点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
<ul style="list-style-type: none"> 講義内容から課題を出し、レポートを求めます。学習指導案の作成を特に重視します。 ※提出されたレポートや学習指導案についてはコメント・修正箇所の指摘をし、返却をします。 参加態度は、積極性や意欲、受講生仲間への配慮や責任感、誠実さなど、教師として求められる資質について評価します。 				

○その他
<ul style="list-style-type: none"> 授業の形式 受講生数に応じて、講義、演習、検索、記録・記述・分析、報告、模擬授業などを組み合わせます。 授業の形式は、受講生数に応じて組み合わせが異なります。 進行状況や学修状況等により講義内容の追加や削除等変更をすることがあります。 講義内容についての質問・要望等は、講義終了後または研究室(メールも可)に来てください。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名：福祉科教育法 (Teaching Methodology in Welfare) 担当教員：河村 裕次	授業コード：K006201
学修内容		
1. 教科「福祉」の創設とその意義 教科「福祉」の創設とその意義について理解するために、わが国の「教育構造改革」の内容とその意義、2018年改定高等学校学習指導要領の注目点について学びます。		
予習：講義の目的等についてシラバスを確認する		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
2. 教科「福祉」の目標と教育内容(1)目標について 2018年改定高等学校学習指導要領における、教科「福祉」の目標について学びます。		
予習：学習指導要領解説の「目標」について読み、まとめる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
3. 教科「福祉」の目標と教育内容(2)教育内容について 2018年改定高等学校学習指導要領における、教科「福祉」の教育内容について学びます。		
予習：学習指導要領解説の「科目編成」について読み、まとめる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
4. 教科「福祉」の科目編成と福祉科の教育課程 2018年改定高等学校学習指導要領における、教科「福祉」の科目編成及び福祉科の教育課程の理解を深めることにより、学習指導要領における教科「福祉」、福祉科の全体構造について学びます。		
予習：学習指導要領解説の「科目の編成」について読み、まとめる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
5. 教科「福祉」の理念・目的と多様な授業方法 高校福祉科における「福祉教育」の理念・目的をノーマライゼーションの視点から整理し、福祉意識と歴史認識の重要性について学びます。		
予習：教科「福祉」の創設が求められた背景について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
6. 学習教材の研究 福祉科の学習の性格と科目の内容について明らかにし、学習教材の研究・開発、授業研究の効果的な活用方法について学びます。		
予習：福祉科における学習教材について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
7. 学習資料の活用 教科書の活用方法、福祉関係の諸資料の活用方法、視聴覚機器の利用とメディアの活用方法を学び、実践性のある学習活動の展開を考察します。		
予習：学習教材・資料の活用方法について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
8. 教科「福祉」の指導内容の特質と教育方法の検討 これまでの講義内容を踏まえ、教科「福祉」のねらいを達成する授業設計を行うために、教科「福祉」の特質に応じた情報機器及び教材の効果的な活用方法について考えます。		
予習：教科「福祉」のねらい・目的について整理する		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
○授業計画	科目名：福祉科教育法 (Teaching Methodology in Welfare) 担当教員：河村 裕次	授業コード：K006201
学修内容		
9. 学習指導と評価について 評価の意義と内容について解説し、教育評価の方法、観点別評価についてについて考えます。		
予習：教育評価の方法について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
10. 「福祉」の概念・理念と教科「福祉」の構造 社会福祉の概念と理念についてキーワードにより理解を深め、教科「福祉」の教育内容との関連について学びます。		
予習：社会福祉の概念について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
11. ノーマライゼーション思想の教育法 最も差別・偏見を受けやすいといわれる精神障害者の事例を取り上げ、地域で当たり前にも暮らすことができるようになるための教育法を考えます。		
予習：ノーマライゼーションについて調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
12. 高齢者問題の教育法 高齢者問題が家族の問題であることを視聴覚学習、ジェノグラムの作成を通して認識し、それらを前提にした体験的教育法について学びます。		
予習：高齢者を取り巻く問題について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
13. 児童と家族問題の教育法 「男女共同参画社会」における父親と母親両性による子育て、育児の社会化と児童の福祉の視点から捉え、21世紀の福祉社会の将来像を展望できる教育法を学びます。		
予習：子育て(家庭)を取り巻く問題について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
14. 生存権と生活保護問題の教育法 ホームレスの人たちの事例を取り上げ、生存権の保障と生活保護についての教育法について学びます。		
予習：生活保護を取り巻く問題について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
15. バリアフリー推進の教育法 ノーマライゼーション思想の具現化を進める方法の一つ、バリアフリーについて物理的、心理的側面から考え、その教育法について学びます。		
予習：バリアフリーについて調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)
16. ボランティア活動の教育法 ボランティア活動のキーワードである「自発性」「無償性」の是非を切り口にして、わが国におけるボランティア活動とアメリカのそれとの違いを明確にし、ボランティアの啓発のための教育法を考えます。		
予習：ボランティア活動について調べる		(約2.0h)
復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる		(約2.0h)

2020年度 授業シラバスの詳細内容

<p>○授業計画 科目名：福祉科教育法 (Teaching Methodology in Welfare) 授業コード：K006201 担当教員：河村 裕次</p>	<p>○授業計画 科目名：福祉科教育法 (Teaching Methodology in Welfare) 授業コード：K006201 担当教員：河村 裕次</p>
<p>学修内容</p>	<p>学修内容</p>
<p>17. 教科「福祉」をめぐる状況と課題 こんにちの教科「福祉」をめぐる最新の動向を取り上げ、その教育方法の在り方について考えていきます。</p>	<p>25. 福祉科指導案の作成の実際(2)科目「介護福祉基礎」 科目「介護福祉基礎」の具体的な授業の一場面を想定し、実際に活用することのできる指導案を作成し、評価・反省を加えて指導案の修正について検討します。</p>
<p>予習：現在の教科「福祉」をめぐる動向について調べる (約2.0h) 復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる (約2.0h)</p>	<p>予習：介護福祉基礎の単元から1つ選び、その内容について調べる (約2.0h) 復習：講義での指摘事項を踏まえ、作成した指導案を修正する (約2.0h)</p>
<p>18. 「社会福祉基礎」、「介護福祉基礎」、「コミュニケーション技術」の内容と指導法 教科「福祉」の科目編成のうち、「社会福祉基礎」、「介護福祉基礎」、「コミュニケーション技術」の3科目を取り上げ、その内容と取り扱いについて学びます。</p>	<p>26. 福祉科授業の実際と評価・反省(2)科目「介護福祉基礎」 前時に作成・修正した指導案をもとに、実際の授業を想定して模擬授業を行い、相互に合評し反省と改善の方法について検討します。</p>
<p>予習：学習指導要領解説の該当科目について読み、まとめる (約2.0h) 復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる (約2.0h)</p>	<p>予習：模擬講義の準備 (約2.0h) 復習：実際の模擬講義や指摘事項を踏まえ、作成した指導案を修正する (約2.0h)</p>
<p>19. 「生活支援技術」、「介護過程」、「介護総合演習」の内容と指導法 教科「福祉」の科目編成のうち、「生活支援技術」、「介護過程」、「介護総合演習」の3科目を取り上げ、その内容と取り扱いについて学びます。</p>	<p>27. 福祉科指導案の作成の実際(3)科目「コミュニケーション技術」 科目「コミュニケーション技術」の具体的な授業の一場面を想定し、実際に活用することのできる指導案を作成し、評価・反省を加えて指導案の修正について検討します。</p>
<p>予習：学習指導要領解説の該当科目について読み、まとめる (約2.0h) 復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる (約2.0h)</p>	<p>予習：コミュニケーション技術の単元から1つ選び、その内容について調べる (約2.0h) 復習：講義での指摘事項を踏まえ、作成した指導案を修正する (約2.0h)</p>
<p>20. 「こころとからだの理解」、「介護実習」、「福祉情報活用」の内容と指導法 教科「福祉」の科目編成のうち、「こころとからだの理解」、「介護実習」、「福祉情報活用」の3科目を取り上げ、その内容と取り扱いについて学びます。</p>	<p>28. 福祉科授業の実際と評価・反省(3)科目「コミュニケーション技術」 前時に作成・修正した指導案をもとに、実際の授業を想定して模擬授業を行い、相互に合評し反省と改善の方法について検討します。</p>
<p>予習：学習指導要領解説の該当科目について読み、まとめる (約2.0h) 復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる (約2.0h)</p>	<p>予習：模擬講義の準備 (約2.0h) 復習：実際の模擬講義や指摘事項を踏まえ、作成した指導案を修正する (約2.0h)</p>
<p>21. 福祉科授業の組み立てと構成 福祉科授業の組み立て方や進め方について理解し、子どもの実態を踏まえた実践的場面を想定して実施し、授業設計について検討します。</p>	<p>29. 教科「福祉」における発展的な学習について 現行学習指導要領及び次期学習指導要領における発展的な学習についての目的を理解するとともに、教科「福祉」における①理解をより深める学習、②理解をより広げる学習、③進んだ内容について学習について、具体的な学習内容について検討していきます。</p>
<p>予習：授業設計の実際について調べる (約2.0h) 復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる (約2.0h)</p>	<p>予習：学習指導要領における発展的な学習について調べる (約2.0h) 復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる (約2.0h)</p>
<p>22. 福祉科指導案の作成手順 毎時の指導案について、学習指導案の構成などの基礎的知識と技術について理解し、指導案作成方法について学びます。</p>	<p>30. 福祉科教諭の資質 教員に求められる資質は、多様な角度から多くの研究がなされていますが、ここでは「生きる力」と教科「福祉」との相関性の観点から考えます。</p>
<p>予習：指導案の構成について調べる (約2.0h) 復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる (約2.0h)</p>	<p>予習：教壇に立つうえで求められる資質について考え、まとめる (約2.0h) 復習：配布資料、板書等をもとに講義レポートをまとめる (約2.0h)</p>
<p>23. 福祉科指導案の作成の実際(1)科目「社会福祉基礎」 科目「社会福祉基礎」の具体的な授業の一場面を想定し、実際に活用することのできる指導案を作成し、評価・反省を加えて指導案の修正について検討します。</p>	<p>31. 定期テスト これまでの講義内容についての試験を行います</p>
<p>予習：社会福祉基礎の単元から1つ選び、その内容について調べる (約2.0h) 復習：講義での指摘事項を踏まえ、作成した指導案を修正する (約2.0h)</p>	<p>予習：これまでの配布資料、板書等を整理するとともに、講義内容について振り返る (約2.0h) 復習： (約2.0h)</p>
<p>24. 福祉科授業の実際と評価・反省(1)科目「社会福祉基礎」 前時に作成・修正した指導案をもとに、実際の授業を想定して模擬授業を行い、相互に合評し反省と改善の方法について検討します。</p>	<p>32.</p>
<p>予習：模擬講義の準備 (約2.0h) 復習：実際の模擬講義や指摘事項を踏まえ、作成した指導案を修正する (約2.0h)</p>	<p>予習： (約2.0h) 復習： (約2.0h)</p>